



令和4年度 鹿屋市立輝北中学校『学校だより』

シャイニング輝北

第11号 令和4年12月20日

校訓

友愛（豊かな広い心）

健康（健やかな体）

努力（鍛え、学び続ける態度）

共に生きる



校長 副田 明彦

11月15日（火）に国連の経済社会局とUNFPA（国連人口基金）が会見を開き、世界の人口が80億人を突破したことを伝えました。どうしてわかるのかわかりませんが、80億人目に生まれた赤ちゃんは、フィリピンのマニラの病院で生まれた女の赤ちゃんでビニース・マバンサグちゃんとのこと。

思えば、世界の人口が50億人突破したのは1987（昭和62）年7月11日、60億人突破したのは1998（平成10）年（60億人突破の時はニュースにならず、1999年10月12日に60億人を突破したと発表されたが後に1年前倒しの訂正が入った）、70億人突破したのは、2011（平成23）年10月30日、でした。そして、今回80億人突破。では、次の90億人を突破する日はいつでしょうか。計算してみましょう。

今月は、師走ですね。「いつもはどっかと座っている師匠（坊さん）も走りまわるくらい忙しい」から師走というそうです。そんな12月は、人権月間となっています。その中でも12月10日～16日は、北朝鮮人権侵害問題啓発週間です。

皆さんは、本校区に拉致被害者の市川修一さんご家族がおられますから、いろいろな場面で学んだり、「めぐみ」という映画・アニメ等を鑑賞したりして理解してくれていると思います。それでも、ある日突然、自分が家族等と引き離され、遠い異国に連れて行かれ二度と家族に会うことができないことを想像すると、その喪失感たるや想像しがたいと思います。『誘拐』や『殺人』は、人権侵害の最たるものです。もし、自分の親・兄弟姉妹、自分の恋人・自分の子供が誘拐されたり、殺されたりしたらどう思うでしょうか。許しがたい犯罪であることは、皆さん、よく理解しておきましょう。

「誘拐」や「殺人」の最たるものは、「戦争」です。今年の文化祭で展示班がモザイクアートで挑戦してくれた絵を覚えていますか。平和な我が故郷の青い空と高隈山の下に広がるひまわりの写真、それは今、ロシアと戦争をしているウクライナの国旗を想像させる素敵な絵でした。

今、ロシア・ウクライナ間で起こっている戦争は、社会主義国から抜けようとしている国とそうさせまいとする国との争いです。そう今までの人類の歴史上で起こった戦争は、もっぱら宗教の違いやイデオロギー（考え方）の違いで起こっています。しかし、これからの戦争は、食料や水、エネルギーの奪い合いによるものになると言われています。

人口というのは、人の口と書きます。人が多いということは、食べ物をたくさん喰らいます。昔の日本なら、江戸末期の飢饉の頃、「口減らし」といって、老人を山へ捨てに行くという「姥捨て山」というお話や幼い兄弟を安いお金で売り飛ばし丁稚奉公に出すといったことを行い、一家の食料の確保に奔走しました。今では考えられない残酷なことです。しかし、食料をいかに確保するか、ということはこれからの世界の大きな課題でもあります。

それだけではありません。実は温暖化の種でもあります。二酸化炭素は、呼吸で排出されますし、人が80億人いるということは、それだけCO2を排出することでもあります。そのことが気候を変動させる恐れがあることも考えなければなりません。気候が変動すると、植物の生長に影響を及ぼし、結局、食糧不足につながるのです。

先日、「みんなちがってみんないい」ということについて学びました。生徒会による「人権学習」も行い、世界人権宣言についても理解を深めることができました。「共生社会」と言いますが、この地球でみんなと共に生きていくために自分に何ができるかを考えてぜひできることから行動しましょう。Think Globally, Act Locally.

2月24日にはじまったロシア・ウクライナ戦争は、終わりが見えません。令和4年中、ずっと心が痛みました。この戦争が、世界中の物価高、エネルギー不足、食糧不足を結果的に招いています。その結果、戦争しているところとは関係ないところで、餓死者や凍死者が出ています。こういう状況で世界はよいのでしょうか。今年の漢字は「戦」でしたが、やっぱり・・・でした。来年には、戦争が終わることを祈るばかりです。戦争にいい戦争・悪い戦争なんてありません。

世界はそのような状況ですが、本校は、23日で二学期が終了です。子供たちは、81日間の二学期に体育大会・文化祭・ロードレース大会と本校の三大2学期行事を無事成功させました。修学旅行も実施できました。三年ぶりの輝北祭りも参加して地域の盛り上がりに加勢ができました。本当によく頑張りました。

3年生は、三者面談が終わり、いよいよ入試に向けて突入です。進路実現のためには、学習は欠くことができないので、この冬休みを計画的に毎日、コツコツコツコツの努力で突っ走っていきましょう。皆さん、お疲れさまでした。

最後に後期生徒会が出発しました。よりよく輝北中を引っ張っていきましょう!!2学期も保護者の皆様、本校の教育活動に対して御理解・御協力・御支援誠にありがとうございました。よいお年をお迎えください。

激走!!ロードレース大会



10日(土)に校内ロードレース大会を開催しました。

天気は快晴の絶好のマラソン日和の中、開会式のあと、学級でウォームアップをして、女子は10時の、男子は10時30分の出発の合図を待ちます。コースは、校庭を1周して、路上へ出て、一路国道504号線に向かいます。行きは上り坂、折り返しのコーンを回って、今度はゆるやかな下り坂を下り、校庭へ戻ってくるというスペシャルなコースです。この日まで、朝活を始めいろいろな形で取り組み、特にここ2週間あまりロードレース週間などを設けて、ランニングに励んできました。その成果が、出たでしょうか。結果はこちら↓↓↓

【女子】 2 km	【男子】 2. 8 km	丸付き数字は学年	女子平均
1位 山口 瑞稀 ② 8' 30"	1位 大窪 拓馬 ② 9' 46" 幹・鉢新記録		R1 9' 34"
2位 吉水 希杜菜 ② 8' 37"	2位 園田 絢人 ③ 10' 01" 学年新記録		R4 10' 28"
3位 新藏 七奈 ① 8' 39"	3位 江端 潤真 ② 10' 28"		男子平均
7位(3年1位) 加藤 百佳③ 9' 33"	4位 立元 雄大 ① 10' 34"		R1 12' 18"
			R4 11' 44"

子供たちはそれぞれ、自分の目標をもって走りました。全体としては、「R1越え」をねらっていました。結果として、なんと男子のR1超え達成です!! この力は必ずや生きる力に生きてきます!! ぜひ「走ること」を好きになってほしい!!

引き継ぎました

11月30日に進級生徒会の引継式を行いました。
いよいよ新生徒会がスタートしました。

君たちの学校は、大人になってからの「あなたの母校」です。自分のお父さん、お母さんの母校である生徒も多いです。そんな輝北中をどう盛り上げていくのか、これからの新生徒会に目が離せません!!



避難訓練(火事)

先日、抜き打ちのJ-ALARTによる避難訓練をしましたが、今回は、肝属地区輝北消防分遣所の署員の皆さんにお願いいただき訓練を行いました。生徒は、消火器による消火訓練や職員は、パッケージ消防設備の使い方を学びました。イザという時、「助けて〜!!」と大きな声が出せますか? 命は一つしかありません。その命を守るためにできることをしましょう。



頑張る輝北生!

○西日本読書感想画コンクール県特選 2年 砂田 侑来
○ 県入選 1年 馬場 英

1・2年PTAありがとうございました

14日に1・2年生PTAを行いました。2学期の総まとめはどうでしょうか。「思春期子育て講座」として鹿屋警察署生活安全課の方を講師にお招きして実施しました。夕方からは「親子体操講座」をCore&Life Tuning AIKAの山下秀人先生をお招きして実施しました。親子で一番ストレスのかかる時期にさしかかっています。子供との距離をうまく保ちながら乗り越えていきましょう!!



1月の主な行事予定

- 1日(日) 元日
- 4日(水) 仕事始め・鹿屋市成人式
- 5日(木) ほたる号来校
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 始業式・書き初め大会
- 11日(水) 3年実力テスト(～12日) Fタイム
- 14日(土) 土曜授業
- 17日(火) 鹿児島県学習定着度調査(～18日)
- 20日(金) 私立高校受験事前指導
- 21日(土) 春の祭典(22日1・2年生出演宝山ホール)
- 24日(火) スクールカウンセラー来校(午前)
- 25日(水) 立志のつどい・進路講演会
- ※21日(土) 青少年育成の日 15日(日) 家庭の日



2月の主な行事予定

- 1日(水) 3年PTA・ほたる号来校
- 3日(金) スクールゾーン委員会(本校)
- 7日(火) スクールカウンセラー来校(午前)
- 10日(金) 部活動休止・ノーメディア週間(～16日)
- 11日(土) 建国記念の日
- 15日(水) 学年末テスト(～17日)
- 21日(火) 入学説明会
- 22日(水) 学校運営協議会
- 27日(月) 生徒会専門部会・代議員会
- ※18日(土) 青少年育成の日 19日(日) 家庭の日



毎月23日は親子読書の日です。
親子でぜひ本を読みましょ!!

♣ 12日からタブレットの持ち帰りが始まりました。家庭学習での利用が目的です。活用をお願いします。